

# 平成28年産米集荷経過報告

## 1等米比率 85.5% (平成28年10月21日現在)

### 1. 検査概況

単位:俵 (60kg)

種類	1等	2等	3等	規格外	合計
魚沼産コシヒカリ	93,124.3	13,108.4	750.0	476.5	107,459.2
一般コシヒカリ	31.0	0.0	0.0	0.0	31.0
こしいぶき	819.2	42.0	0.0	0.0	861.2
その他うるち	316.0	60.0	13.0	0.0	389.0
もち米	28.0	365.0	110.5	16.0	519.5
酒米	2,741.5	278.0	0.0	0.0	3,019.5
加工用米	2,209.0	833.0	63.0	0.0	3,105.0
備蓄米	4,510.5	904.0	216.5	0.0	5,631.0
輸出用米	1,397.5	610.0	0.0	0.0	2,007.5
学校給食米	369.0	48.5	0.0	0.0	417.5
合計	105,546.0	16,248.9	1,153.0	492.5	123,440.4
等級比率	85.5%	13.2%	0.9%	0.4%	100.0%
格落原因	①除青未熟粒 ②心白粒 ③胴割粒				

### 作柄・品質概況

育苗期・田植時期ともに天候に恵まれ、苗の活着及びその後の生育は良好で、出穂時期では平年より3~4日程度早く、草丈・莖数・葉色はほぼ指標値並みで順調に推移しました。

出穂後の成熟期でも積算温度・日照時間も十分確保され、登熟も進み、例年より早く収穫期を迎えましたが、9月後半では降雨により収穫作業が遅れる状況が続きました。

9月15日現在の作況指数は108と例年でない作柄状況となりました。

品質では粒張り・粒揃いは平年より良い状況ではありましたが、8月の高温障害と思われる心白粒や胴割粒が多く身受けられ、9月下旬頃からは白未熟粒の混入が目立つようになりました。

また、地域によりカメムシが散見されました。

1等米比率は10月21日現在85.8% (コシヒカリのみ) と昨年より+1.2ポイントの結果となりました。

### 2. 集荷概況

単位:俵 (60kg)

種類	予約数量	集荷実績	集荷率
J A米うるち	103,074.5	110,083.4	106.8%
J A米もち	457.0	393.0	86.0%
一般米うるち	508.5	1,200.0	236.0%
一般米もち	0.0	110.5	—
加工用米うるち	4,255.5	2,738.5	64.4%
加工用米もち	366.5	366.5	100.0%
備蓄米	6,667.0	5,631.0	84.5%
輸出用米	5,068.0	2,007.5	39.6%
飼料米	338.0	338.0	100.0%
学校給食米	667.0	417.5	62.6%
規格外米	0.0	492.5	—
合計	121,402.0	123,778.4	102.0%

### 3. カントリーエレベーター受入実績 (生粉・トン)

第1カントリー	第2カントリー	片貝カントリー	合計
1,434.6	1,427.1	1,530.0	4,391.7